

## 『立命館経済学』特別号の刊行にあたって

経済学部長・経済学会長 角 田 修 一

立命館大学経済学会が発行する『立命館経済学』は、50年以上の歴史と300号をこえる長い伝統をもった学術専門誌です。主に経済学部および経済学研究科所属教員や大学院生による研究成果を公表する機会を提供する目的で、現在も年間6号の発刊を維持しております。

近年のIT技術の発達をふまえて、経済学会は、『立命館経済学』をデジタル化し、いっそう広い範囲からその内容にアクセスしていただけることにふみきました。それと同時に、本誌が学部学生の勉学に役立ち、さらに親しめるものになることを検討した結果、「学生教材特別号」を発行することにいたしました。これには学部における講義科目担当者がその講義で利用したり、受講生が参照できる内容をもりこみましたが、内容は各先生方の自由な発想でお願いしています。今年の特別号はその第1号であり、今後引き続き第2号を刊行する予定です。

ご執筆いただいた先生方はもちろん、編集の労をとられた学会委員の諸先生には厚く御礼を申し上げます。

本学会の学生会員のみなさんが本特別号をおおいに活用し、講義の理解だけでなく、ひろく自身の勉学や卒業研究などに役立っていただければ幸いです。

2002年10月